



顧客成功事例

MDS Global

PostgresとEDBで
モダナイゼーションを推進
通信分野における事業範囲
を拡大



顧客： MDS GLOBAL

2016年より EDB の顧客

Stephen Randall
MDS Global CTO

“EDBは、単なるチケット対応ではなく、伴走するコンサルティングとしてサポートしてくれます...”

Stephen Randall
MDS Global CTO



概要

コスト効果が高くシームレスな移行を組織や顧客に提供する 価値は、今もなお広がっている

通信業界は世界的に見ても巨大で、市場規模は2兆ドルに迫ります。このため、多くのサードパーティ企業が存在するのは当然のことです。そのエコシステム内で、ビジネスサポートシステム（BSS）は数十億ドル規模のセクターとして知られ、通信事業者が顧客向けの業務を運営するための様々なサービスを提供しています。



英国で BSS サービスを提供する MDS Global は、この分野のテクノロジーの先駆者として確固たる地位を確立しています。DevOps 手法を迅速に導入したことで、ステークホルダーのニーズに素早く応える体制を整えました。同社の提供するソリューションは、通信事業者が複雑な製品やサービスの収益化、保証、顧客誘導を一括管理できるようサポートします。

1995 年、MDS Global は、後にクラウド・マネタイゼーション・プラットフォーム（CMP）として知られる課金およびカスタマーケアシステムの初期版を開発しました。この CMP は、世界的な通信事業者に広く採用され、大成功を収めたアプリケーションでしたが、2016 年には明らかに時代遅れとなりつつありました。



レガシーシステムを全面的に再評価する

MDS Global は、初回のリリースから 21 年にわたり CMP に多くの改良を施してきましたが、根本的な革新が求められていることが次第に明らかになってきました。

特に、組み込みの DB2 データベース管理システムが次第に負担となってきていました。既存の顧客は CMP の価値を認識している一方で、新たな見込み客からは、古いインフラを現代的なアプリケーションの基盤として採用することに対する疑問がしばしば寄せられていました。加えて、エンジニアリングチームが革新を進める中で、DB2 は開発においても扱いにくく、コストがかさむ存在となっていました。

MDS Global が既存の顧客層を超えて市場を拡大し始めると、DB2 に関するコストの負担がさらに増大しました。MDS Global の CTO である Stephen Randall 氏は次のように述べています。「私たちは、グローバルに、そして小規模な通信事業者にもサービスを提供する範囲を広げようとしていました。そのため、小規模なお客様の異なる予算感を考慮し、コスト削減策を検討する必要がありました。」

チームは、大胆なアプリケーションの刷新に着手することで、導入の柔軟性を向上させ、開発の速度も加速できると期待しています。その一環として MDS Global は仮想化技術を導入し、CMP をほぼすべてのハードウェア基盤で動作可能にしました。DB2 のライセンス費用を考慮すると、このような大規模な展開は費用的に難しいといえます。しかし、DB2 から移行する理由はそれだけではありません。MDS Global が選択したのは、広くサポートされ、コスト効率の良いデータベースである Postgres です。

現代的なアプリには、現代的な基盤が必要

MDS Global のチームは、CMP アプリケーションの再構築を社内を進めることを決定しました。オープンソースコミュニティの豊富なリソースを活用し、移行は迅速かつ確実に完了しました。全体として、アップグレードは驚くほど円滑に実施されました。PostgreSQL 11 の本稼働後も、追加のアップグレードを無事に行っています。

Randall 氏は次のように述べています。「お客様によっては、当社がマネージドサービスとしてプラットフォームを提供することもあれば、ご自身で運用したいと考える方もいます。以前はセルフ運用を希望されるお客様にとって、すべてが複雑で専門知識が必要だったため、大規模なチームを必要としました。」現在では、プラットフォームの導入が容易になり、Postgres のスキルを持つ人材を地域で見つけることが簡単になりました。そのおかげで、私たちのチームはインフラではなく、製品のサポートに専念できています。

Randall 氏は、Postgres の導入が MDS Global の開発者にとって大きな助けとなったと述べています。「現在、自由度が大幅に向上しました。最近では、各開発者が迅速に新しい開発・テスト環境を構築できるため、開発段階で問題を発見し修正することが容易になっています。」Community Edition を活用することで、ほぼ制約がなく、チームは新しい挑戦に取り組みながら試行錯誤でき、全体的にスピード感が向上しました。移行によって、同じ予算の中で利用可能なリソースが増え、機能強化に必要な資金も確保できるようになり、より多くの目標を達成できています。



2回目の移行で、成功を更に推進

CMPによるPostgresの移行が成功した後、Randall氏とそのチームはMDS Globalの「Spend Analyzer」に関連する第2の移行プロジェクトを開始しました。このSpend Analyzerは、通信事業者のB2B顧客に有益なインサイトを提供し、コスト削減に役立つ情報を活用します。

MDS Globalが新興市場での影響力を強める中、顧客はSpend Analyzerの有効性に強い関心を寄せましたが、設計上Oracleデータベースでの運用が必要で、その高コストにためらうことも多々ありました。

「新しい地域の一部では、ベンダーロックインに対する抵抗感に加え、Oracleデータベースの運用コストへの反発も存在します」とRandall氏は述べています。「Spend Analyzerの普及には、これら二つの懸念を解消することが重要だと認識していました。大口顧客でさえ、価格においてより柔軟性を求めていたのです。」

CMPのデータベース移行にはアプリケーションの近代化要素が含まれていましたが、Spend Analyzerの移行はデータベース移行に特化したものでした。しかし、これは容易ではありません。Spend Analyzerの多くがOracleの独自仕様に基づいて作成されていたためです。

Randall氏は次のように述べています。「変換作業には専門的なサポートが必要でした。CMPではアプリ全体を再設計していたため、社内では対応できませんでした。しかし、Spend Analyzerに関しては、無料のオープンソースツールだけでは不十分だと判断しました。EDBの優れたOracle変換ツールを活用することで、Oracleへの依存を減らすために必要な作業量を大幅に軽減できました。」

EDBのプリセールスおよびエンジニアリングチームのサポートにより、MDS Globalは移行をスムーズに行い、コスト効率も向上させ、Oracleベースのインフラによる顧客の時間と費用の負担を軽減することに成功しました。

「物事がこれほど迅速に進展し、実際にサポートしてくださる担当者から、問題の本質をついた質の高い回答を得られたことに深い感銘を受けました。EDBのサポートは、単なるチケット対応を超えたコンサルティングに近いレベルです。」その点については、課題が発生した際に常に同じ担当者と直接やり取りでき、毎回ヘルプデスクを通す必要がなかったことから明らかにわかりました。

移行の効果は今も着実に蓄積され続けている

コストの優位性は、移行によって得られるメリットの一部に過ぎません。MDS Global がより限られた予算の中小企業に注力する中で、オンプレミスではなく MDS Global のクラウドサービスを選ぶ顧客が増加することが予想されます。

「できるだけ手間をかけずにクラウドに移行できるデータベースが必要でした」と Randall 氏は振り返ります。「しかし、Postgres への移行が、これほどまでに迅速なイノベーションと新たな挑戦の力を引き出すとは、当初は理解していませんでした。」「現在では変更の柔軟性が向上し、製品をさらに機動的に進めることが可能になりました。同じ全体予算の中で、利用できるリソースと投資可能な資金が増えたため、実現できることが大幅に広がりました。」

移行によって、MDS Global の開発者は、開発やテストのために、データベースとデータを含む新たな環境を簡単に構築できるようになりました。これにより、開発チームはエラーを早期に発見し、変更の影響をより包括的に理解できるようになります。

Randall 氏は次のように述べています。「Postgres への移行による利点を、実際に数多く感じています。技術的には、新しい Postgres のバージョンごとに、柔軟性と機能が大いに向上しました。意思決定から実行に至るまでのスピードも増し、問題が発生した際には、コミュニティや EDB のサポートを活用することで迅速に解決できると確信しています。加えて、両アプリケーションのコストが削減されたことで、より小規模な企業にも提案しやすい価格設定の柔軟性が生まれ、共に成長するための基盤が整いました。」



EDB Postgres AI について

EDB Postgres AI は、オンプレミスおよびマルチクラウドにわたり、安全性とコンプライアンスを確保しつつ、フルスケールで拡張できる環境を備えた、初のオープンなエンタープライズ向け主権データ/AI プラットフォームです。世界規模のパートナーネットワークに支えられ、トランザクション、分析、AI の各ワークロードを統合。組織が必要な場所で、必要なタイミングに、必要な方法で、データと LLM を実運用へつなげられるようになります。詳細は www.enterprise-edb.com をご覧ください。